

2016年5月9日

記者各位

アストモスエネルギー株式会社

東ティモール国立大学向け奨学金贈呈式開催について

アストモスエネルギー株式会社(本社:東京都千代田区 社長:増田 宰、以下「当社」)は、東ティモール民主共和国(以下「東ティモール」)において、当社社長の増田が出席の上、奨学金制度の贈呈式を開催しました。当該奨学金制度は、当社にとって海外で実施する初めての本格的な CSR 活動として昨年設立し、東ティモール国立大学(以下「UNTL」)に在籍する学生を対象に実施しており、本年が 2 年目となります。また、贈呈式開催に先立ち、同国のタウル・マタン・ルアク大統領に謁見し、当社の活動を紹介、大統領からは、奨学金制度を通じた人材育成への貢献に対し謝辞を頂くと共に、当制度が両国の更なる関係強化に繋がることへの期待感が述べられました。

当社では、2008年1月から豪州/東ティモールの共同石油開発海域の「バユ・ウンダン・ガス田」で生産される LP ガスを ConocoPhillips 社との契約を通じ、全量購入してきております。

当該奨学金制度は、同国との長期に亘る LP ガスの安定供給に謝意を表明し、東ティモールの発展に寄与する人材育成を図り、日本と東ティモール両国間のより一層の関係強化に貢献していくことを目的に昨年設立し、開始したものです。

過日4月26日(火)、当制度の2016年の奨学生を対象として、当社主催にて奨学金贈呈式を開催(於 UNTL 講堂)し、同大学教授、東ティモール政府閣僚、奨学生とその家族を含めて、総勢60名が参加しました。式典ではミグエル UNTL 学長から奨学金制度創設に対する当社への謝辞の後、当社社長増田より奨学生への激励の挨拶を行い、来賓を代表して、山本特命全権大使、ダルチェ教育副大臣より祝辞がありました。

贈呈式終了後、日本食を交えた立食パーティが開催され、奨学生とその家族、大学関係者等が参加、この模様は、現地国営テレビで放映されました。

■ 奨学金制度の概要

(1)期間

2015年～2018年の4年間

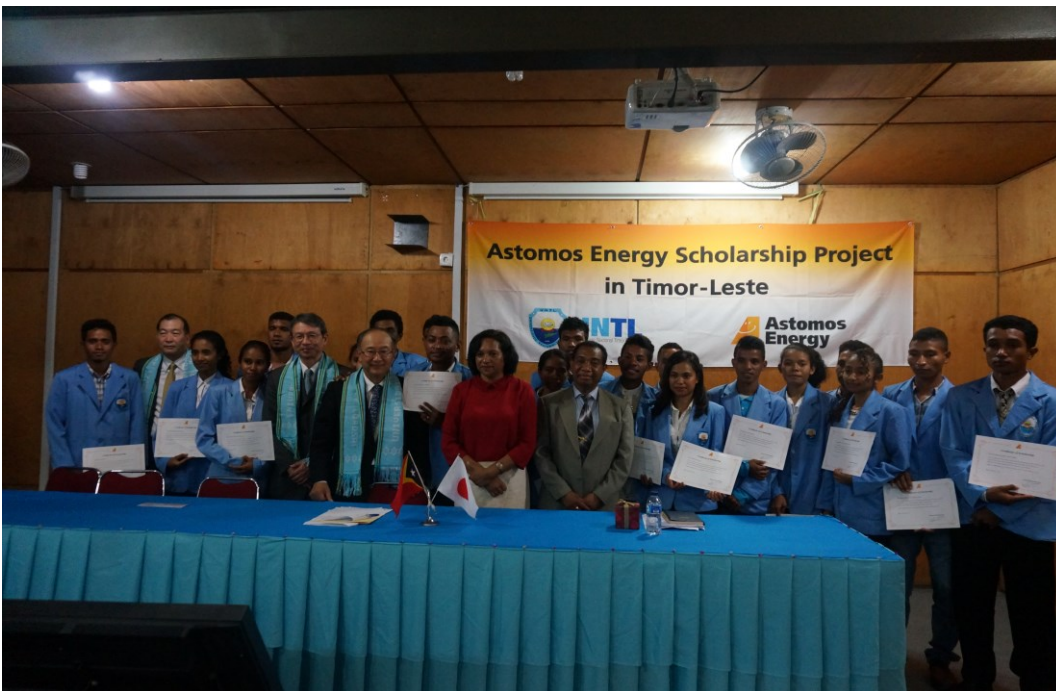
(2)制度の内容

UNTL に在籍する2学年～4学年の全学部を対象に毎年20名程度を選抜して、学生1名あたり500米ドルの奨学金を支給する。また、最優秀奨学生を1～2名選抜し、約2週間の日本研修を行う。

■ 贈呈式の模様

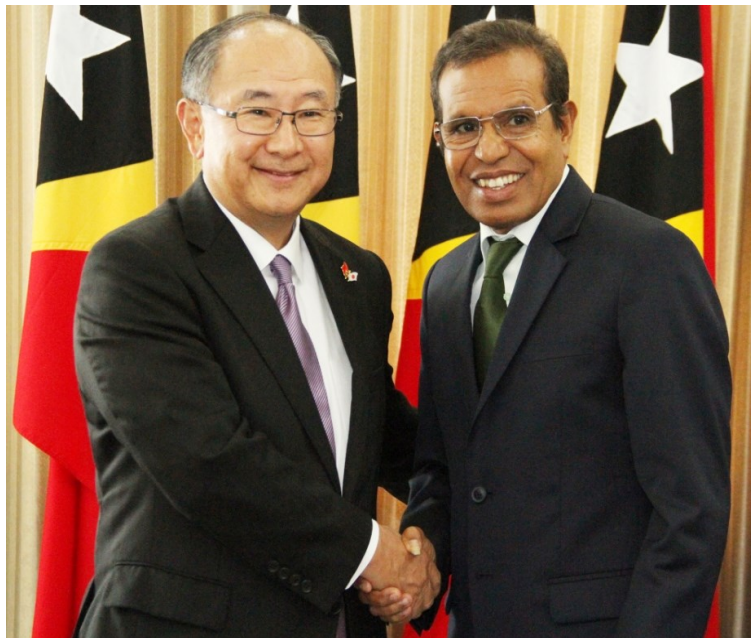


奨学金贈呈式で学生激励の挨拶をする増田社長。



奨学金受給者 UNTL 学生 20 名との記念撮影。前列左から山本特命全権大使、当社増田社長、ダルチェ教育副大臣、ミグエル UNTL 学長、後列左から 2 人目が当社矢木国際事業本部副本部長。

■ タウル・マタン・ルアク東ティモール大統領への謁見



奨学金贈呈式に先立ち、東ティモール大統領府にて
タウル・マタン・ルアク大統領に謁見した増田社長。
写真は東ティモール大統領府提供。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

経営企画部 栗谷 電話:050-3816-0720

e-mail:keisuke.kuritani@astomos.com

[URL:http://www.astomos.com](http://www.astomos.com)